

# 放課後子ども教室NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

## 放課後子どもクラブサポーター研修会 ～ 只見町 ～

6月4日(水)、只見町放課後子どもクラブのサポーター研修会取材しました。

只見町では、放課後子どもクラブサポーターの資質向上や運営上の共通理解を図るために、年3回のサポーター研修会を実施しているそうです。

今回の研修は、放課後等デイサービスや児童発達支援などに関わる「合同会社さすけねえ和」の代表社員である高倉由雅さんを講師に子供との関わり方について学んだり、実際の子ども教室でどのような対応ができるかを話し合ったりするといった内容でした。話し合いでは、目の前の子供たちに対して、自分だったらどう関わっていけるか、活発に意見が交わされました。高倉さんから具体的な対応を教えていただいたことが、前向きな話し合いにつながったということを感じました。

### 皆さんはこんな時どうしますか？

- 兄弟げんかがあった時は？
- 言葉遣いが悪い子にはどう対応する？
- 子供への声のかけ方は？伝え方は？
- 片付けができない子にはどう対応する？
- 個性が強くて、友達と折り合いがつかない子にはどう対応する？
- いたずら坊主にはどう対応する？



活発に意見を交わす、放課後子どもクラブサポーターの皆さん

### <統括コーディネーターより>

講師の高倉さんには、研修会の前に、放課後子どもクラブの視察に来てもらいました。実際に起きたことやスタッフの悩みを基にアドバイスをいただいたことが大変よかったです。

また、すぐに実践につなげられる内容の講義だったため、スタッフの心にスッと入っていったと思います。

放課後子ども教室のスタッフは、地域の方が担っており、教育や子育てなどの専門的な知識をもっている方は多くありません。そのため、各地域の放課後子ども教室の様子を伺うと、**体験活動の際の自分の役割や子供への接し方など、不安に思っているスタッフが多いようです。**

今回のような研修会を定期的を開催することは、スタッフの資質が向上することだけではなく、心の負担の軽減を図ることにもつながります。それが、放課後子ども教室の体験活動の充実やスタッフ確保など持続可能な子ども教室の運営につながっていくのではないのでしょうか。